

資料

用語委員会報告

用語委員会

担当理事：小川恭生

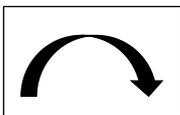
委員長：西池季隆

委員：犬飼賢也, 中原はるか, 野口佳裕,
伏木宏彰

1：回旋性眼振の方向の表記

患者（被検者）の眼球上極における眼振急速相の方向によって決定し，右向き回旋性眼振または左向き回旋性眼振と表記する。また，検者から見て時計回り回旋性眼振，反時計回り回旋性眼振とも表記できる。

例：



上記の眼振の表記は，左向き回旋性眼振とする。また，時計回り回旋性眼振とも表記できる。

2：HIT (head impulse test) および vHIT (video head impulse test) の日本語表記

HITはヘッドインパルス検査，vHITはビデオヘッドインパルス検査と表記する。

3：VEMP (vestibular-evoked myogenic potential), cVEMP (cervical vestibular evoked myogenic potential) および oVEMP (ocular vestibular evoked myogenic potential) の日本語表記

VEMPは前庭誘発筋電位，cVEMPは前庭誘発頸筋電位，oVEMPは前庭誘発眼筋電位と表記する。

4：Vestibular rehabilitation の日本語表記

めまいのリハビリテーションにはいくつかの用語が使用されてきた。世界的には vestibular rehabilitation が使用されており，日本語では前庭リハビリテーションと表記する。また，平衡訓練とも表記できる。

5：良性発作性頭位めまい症 (BPPV) のCRP (canalith repositioning procedure) の日本語表記

CRPの日本語表記には耳石置換法を用いる。

6：Light cupula の表記

方向交代性下向性頭位眼振を示すBPPV症例で，canalolithiasisとは異なる所見を有する病態の説明に用いられる概念である。確立した概念ではないので，論文投稿に際しては「So called (所謂) “light cupula”」として用い，引用文献を示す。